

平成24年(ワ)第3671号, 平成25年(ワ)第3946号, 平成27年
(ワ)第287号, 平成28年(ワ)第79号, 平成29年(ワ)第408号,
平成30年(ワ)第878号

大飯原子力発電所運転差止等請求事件

原告 竹本修三 外3313名

被告 関西電力株式会社 外1名

証 拠 説 明 書

(丙339~351号証)

令和3年5月17日

京都地方裁判所第6民事部合議はB係 御中

被告訴訟代理人 弁護士 小 原 正 敏



弁護士 田 中 宏



弁護士 西 出 智 幸



弁護士 神 原 浩




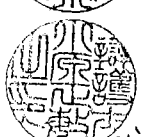






弁護士 原 井 大 介



弁護士 森 拓 也



弁護士	辰	田		淳	
弁護士	畑	井	雅	史	
弁護士	坂	井	俊	介	
弁護士	山	内	喜	明	
弁護士	谷		健 太	郎	
弁護士	酒	見	康	史	
弁護士	中	室		祐	
弁護士	持	田	陽	一	

号証	標 目 (原本・写しの別)		作成年月日	作成者	立 証 趣 旨
丙 339	意見書	原本	R2. 11	澤田義博	地盤の調査結果を評価する際に留意すべき事項、被告関西電力株式会社が大飯発電所3, 4号機(以下、「本件発電所」という)敷地において策定した地下構造モデルの妥当性等
丙 340	意見書	原本	R2. 11	小島圭二	
丙 341	全国地震動予測地図 索引・解説編2018年版	写し	H30. 6	地震調査研究推進本部 地震調査委員会	地震波の生成、伝播過程と地震動のイメージ
丙 342	地盤震動と強震動予測-基本を学ぶための重要項目-(抜粋)	写し	H28. 3. 15	日本建築学会	地震波の反射・透過イメージ、インピーダンス比と反射・透過係数の関係等
丙 343	表層地盤と地震動の性質	写し	H21. 1	吉田望	表層に軟弱地盤が存在する地域においては、地震波が表層の軟弱地盤内で何度も反射を繰り返すことにより地震波が増幅すること等
丙 344	(骨子素案) 発電用軽水型原子炉施設の地震及び津波に関わる新安全設計基準<前回からの修正版>(第4回会合配布資料「震基4-2」)	写し	H24. 12. 17	地震等基準検討チーム	地震等基準検討チーム第4回会合において提示された「発電用軽水型原子炉施設の地震及び津波に関わる新安全設計基準」の骨子素案の中に「②特に、不整形な地下構造が存在する場合には三次元的な地下構造を把握すること」との記載があること
丙 345	発電用軽水型原子炉施設の地震・津波に関わる新安全設計基準に関する検討チーム 第4回会合議事録	写し	H24. 12	地震等基準検討チーム	地震等基準検討チーム第4回会合において、徳山センター長から「逆の表現で『構造・地層の物性が均一と認められない場合を除いてはすること』と、そういうふうな表現に変えたほうが、それは全ての表現にも適用すべきだと思うんですけども、そういう表現にしてはいいかがでしょうか(31頁)との意見があったこと

丙 346	(骨子素案) 発電用軽水型原子炉施設の地震及び津波に関わる新安全設計基準<前回からの修正版> (第5回会合配布資料「震基5-3」)	写し	H24. 12. 27	地震等基準検討チーム	地震等基準検討チーム第5回会合資料では「②①の過程において、地下構造が成層かつ均質と認められない場合、三次元的な地下構造を把握すること」と記載が変更されたこと
丙 347	大飯発電所 弾性波トモグラフィー解析および反射法地震探査の結果について	写し	R2. 10	被告関西電力株式会社	被告関西電力株式会社がこれまでに行った地下構造に関する評価を充実するために本件発電所敷地内において実施したオフセットVSP探査等を利用した弾性波トモグラフィー解析及び反射法地震探査の結果
丙 348	不均質媒質での地震波伝播モデル実験-レーザードップラー速度計を用いた波動計測-	写し	H8. 2	西澤修 雷興林 佐藤隆司	不均質性のスケールが地震波の波長よりも十分に小さい場合には、地震波は不均質性による影響を受けず、不均質性を含む媒質全体を等価な均質媒質とみなすことができること
丙 349 の 1	ROCK QUALITY DESIGNATION (RQD) AFTER TWENTY YEARS	写し	H1. 2	Don U. Deere Don W. Deere	ボーリングコアの観察の際には、コアの採取時に発生した割れ目であるか自然の割れ目であるかが判然としない場合が生じるが、その場合は、保守的に自然の割れ目であるとみなしてR. Q. D. の算定を行うことが一般的であること等
丙 349 の 2	上記訳文	写し	R2. 5	被告関西電力株式会社	
丙 350	トンネル技術者のための地盤調査と地山評価 (抜粋)	写し	H29. 1. 20	災害科学研究所トンネル調査研究会	電研式岩盤分類は、地質の評価に当たって広く一般的に利用されている手法であり、国内では、同分類あるいはこれを修正した分類が広く用いられていること
丙 351	硬岩サイトでの水平アレイ観測に基づく地震動と微動による地盤増幅特性とそのばらつきに関する検討	写し	R2. 11	鳥居大輝 佐藤浩章 東貞成 栗山雅之	本件発電所敷地において得られた地震波形データを用いて、地震波の到来方向による地盤増幅特性を検討した検討内容